

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な処理		H27	指標の設定理由			
	数値	—			施設の性能を維持し、今後の経費削減を考えれば機器の変更が重要である			
活動指標	指標	a	施設維持管理の適正化	b	施設の基幹改良	c	外部委託の検討	d
	数値	目標	経費の削減(A重油)	目標	処理方式及び機器設備の改良・変更	目標	機器整備の委託検討	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
適正な処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 施設維持管理の適正化	円	188,000	182,000	182,000
b 施設の基幹改良		—	—	—
c 外部委託の検討		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
現在の膜分離装置は寿命が短く業者での交換しか出来ない為、膜交換費用が高い。
対応（改善点等）
回転平膜方式から寿命が長く職員で交換ができるチューブラ膜方式への変更を検討。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

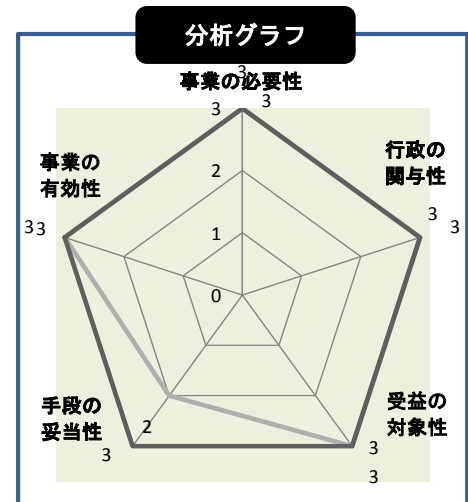
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		137,226	143,824	140,149	147,081
うち経常経費		137,226	143,824	140,149	147,081
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	22,301	24,843	24,657	25,959
	一般財源	114,925	118,981	115,492	121,122
うち経常		114,925	118,981	115,492	121,122
事業費に係る人件費		19,350	19,322	19,615	19,960
事業費に係る人役		4.50	4.50	4.50	4.50

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
施設の適正維持管理。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 運転委託等、検討の余地がある。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 成果がでている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	長期にわたり利用する施設である為、施設管理を適切な手段、費用で実施することにより、トータルコストの削減に努めること。